

発行 一般社団法人ワムタウン推進本部  
〒359-1131 埼玉県所沢市大字久米 554 番地 2  
TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641  
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会  
医療法人昭仁会  
社会福祉法人栄光会

第137号 2023年/令和5年5月1日(月)

## 院長就任のご挨拶

医療法人啓仁会 平成の森・川島病院(埼玉県川島町) 院長 松村 内久

平成の森・川島病院は、1982年に埼玉県比企郡川島町に「川島病院」として開設しました。2003年に平成の森公園に隣接する地区へ移転・増床し、現在の「平成の森・川島病院」となり、今日に至っています。当院は、これまで40年余にわたり川島町と近隣市町村の地域医療を担ってまいりました。

2023年3月に平成の森・川島病院として、おかげさまで20周年となりました。これも地域の皆様・近隣医療機関の皆様のご支援あってのことと、心よりお礼申し上げます。当院のこの20年間は、坂井誠・前院長のもとで地域密着型の慢性期病院として、大きく発展してまいりました。このたび、坂井先生の院長のご勇退に際しまして、私は、医療法人啓仁会・矢吹甚吾理事長より院長職を拝命し、2023年4月1日に平成の森・川島病院の院長に就任いたしました。

私は、東京生まれの埼玉(北本市)育ち

で、富山医科薬科大学(現・富山大学)脳神経外科にて初期臨床研修・大学院を修了したのち、関連病院・大学病院にて脳神経外科領域の救急・急性期診療とマイクロ手術に携わっていました。2014年に地元へUターンし、ご縁があり医療法人啓仁会に入職し、平成の森・川島病院にて主に脳疾患を中心とした回復期リハビリ医療・慢性期医療・予防医療に邁進してまいりました。また、診療部長、副院長として、地域医療連携や新型コロナの院内感染対策・制御ならびに院長業務のサポートに微力ながら尽力してまいりました。

平成の森・川島病院が、これまでのように地域の皆様・近隣医療機関の皆様から信



院長 松村 内久

頼され選ばれる病院として、安全・安心で良質な医療・看護・介護が実践できるように職員一同とさらに努力していきたいと考えております。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

## ロイヤル・ワム・タウン写真館

vol.46

社会福祉法人栄光会  
デイサービスセンターなかとみロイヤルの園  
センター長 千葉 昇二



カワセミ

カワセミは、水辺に生息する鳥の中でカメラマンを虜にさせている鳥の一種です。水の綺麗な溪流に生息していると思われがちですが、人里近くの大きな池のある公園や河川にも生息します。動きが素早く人が近づくとすぐに逃げてしまうため、なかなか撮影できない鳥です。

撮影地は東京都清瀬市の公園ですが、所沢市と隣接する場所なので、所沢地区の皆さんは出会えるかもしれない、馴染みの場所かもしれません(所沢市下安松本郷に流れる柳瀬川周辺です)。

カワセミを見つけるコツは自転車のブレーキをかける音「キーキー」を探すことです。池や河川敷でこの音が聞こえたら近くにカワセミがいますのでぜひ探してください。

### 【撮影データ】

撮影地：金谷山緑地公園(東京都清瀬市)  
カメラ：Nikon Df

レンズ：SIGMA 150-600mm F5-6.3 DG OS  
HSM | Contemporary

ISO：400  
絞り：F10

シャッター速度：1/640

# 自動車運転再開支援と視機能トレーニング装置の導入について

医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院（宮城県石巻市）リハビリテーション部 濱欠 優太

わが国の総人口における高齢者の割合は年々上昇しており、比例して自動車運転免許の保有者数の割合も高齢者が多くなることが予測されています<sup>（補足1）</sup>。

石巻市も自動車運転免許の保有者数が高齢化傾向にあります。郊外部は市街地と比較して公共交通機関の利便性が25%低下している現状です<sup>（補足2）</sup>。郊外部は農業・漁業を営んでいる方々の割合も高く、広い範囲に点在している地域特性もあり、電車やバスなどの公共交通機関のみでは地域の方々の移動をカバーしきれないため、自家用車が欠かせない移動手段となっています。

当院もまさに郊外部に位置しており、患者様、ご家族から実際に「車なしでは生活しにくいからねえ」と話をいただくことも少なくありません。

脳血管疾患などは、40代から高齢化するにつれ罹患率が高くなり<sup>（補足3）</sup>、治療の経過によってはリハビリテーションが必要となるケースもあることから、当院ではドライブシミュレーターを用いた自動車運転再開の支援を行っています。

しかし、患者様によっては訓練コースを繰り返し経験してしまうと次に起こる事象を予測して操作してしまうなど、評価結果の正確性に支障を来す場合もあるため、ドライブシ

ミュレーターだけではアプローチが不足するケースが課題でした。

そこで今回、「動体視力」「視野」「目と手の協調性」「判断力」の向上に効果が期待できるスープリュームビジョンLを導入いたしました。

人間はあらゆる情報を五感から得て生活しており、五感の中でも「視覚」は情報入力の9割を占めていると言われています。目からの視覚情報は脳内の体性感覚に隣接する手や腕などの器官への伝達が早く、視覚情報は身体反応に素早く影響を与える知覚といえます。

その視覚機能と追従する注意機能や判断力などを鍛えることができるのが、導入した視機能トレーニング装置のスープリュームビジョンLです。身体との協調動作による脳の活性化、先を読むイメージ力の向上などにも影響を与えることが特徴です。また、高齢者の身体機能の改善のみならず、野球やサッカー、テニスなどのスポーツ界にも導入されており、企業でも従業員の健康管理・生産性

の向上などの効果にも期待されています。

自動車運転再開支援では患者様個人によって注意機能、判断力、視覚機能などに応じた高次脳機能障害へのアプローチの引き出しを増やしていきたいと考えています。

当院へ来院される方にとっては、自動車運転は生活に欠くことができないものであり、運転すること自体が「生きがい・心のよりどころ」になっている方もいらっしゃると思います。地域の皆さんが安心して生活できるよう、より質の高いリハビリテーションを提供するため、日々の業務に邁進していきます。

## 【補足】

(1) 内閣府、令和2年交通安全白書「第1章 子供及び高齢運転者の交通事故の状況」より

[https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r02kou\\_haku/zenbun/genkyo/feature/feature\\_01\\_3.html](https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r02kou_haku/zenbun/genkyo/feature/feature_01_3.html)

(2) 宮城県警察による統計を過去3年比較したところ、石巻市は毎年1%づつ高齢者の免許証保有割合が増えていた。

(3) 厚生労働省、平成30年版 厚生労働白書「第1部 障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」より

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/18/dl/1-01.pdf>



運転再開支援に使用しているドライブシミュレーター



2月に導入したスープリュームビジョンL



視機能トレーニング機で期待できること

# 南病棟改修工事が完了しました

医療法人啓仁会 ロイヤルこころの里病院（埼玉県所沢市）総務課 龍前 智彦

当院では南病棟（精神療養病棟）の改修工事を実施し、3月に工事が完了しました。施設を長年使用しているとどうしてもいろいろな個所の修繕や改修が必要となってきます。工事個所は、不要なパーティションの撤去による共有スペースの確保、各部屋の床や壁・天井の改修やクリーニング、結露対策などです。また、リハビリ室の照明の増設、浴室のパネルヒーターの設置や換気設備の入れ替え、エレベーターの設備更新なども行って療養環境の向上を図りました。工事中は入院中の患者様にご不便をおかけする事もりましたが、きれいになった病棟で快適に過ごして頂けているということであれしくと思ってい

ます。皆さんに快くご協力を頂いて感謝しております。また患者様はもちろんですが、職員も気持ちよく勤務しているようなので何よりです。

今後もより良い療養環境、職場づくりに努めたいと思います。



共有スペースが広く綺麗になりました



照明が増えてリハビリ室が明るくなりました

# 天下の奇祭 うなごうじ祭

医療法人啓仁会 豊川さくら病院 (愛知県豊川市) 検査科主任 竹下 三代子

全国で新型コロナウイルス感染拡大防止の規制が緩和され各種イベントが再開されています。わたしの住んでいる地域のお祭りも山車や行列が中止となっていました。今年4月8日(土)宵祭・9日(日)本祭で「牛久保の若葉祭」通称「うなごうじ祭」が開催されました。

「牛久保の若葉祭」は牛久保八幡社の祭礼で、愛知県の無形民俗文化財に指定されています。

祭りのいわれとして、この八幡社の創建は奈良時代と伝えられ、仁徳天皇と応神天皇がお祀りされており、当時は若宮殿と呼ばれていました。一色城主牧野成時(古白)が、ある年の4月8日にこの若宮殿に参詣した時、駿河の領主今川氏親より馬見塚(現豊橋市)に築城を命じられました。喜んだ古白は、社前の柏の葉で御神酒を献じて家臣と共に祝い、家紋を三ツ柏に改めました。このとき、境内の若葉が照り映えているのを見て詠んだ古白の句「きのうけふ(今日)若葉なりしか杉の森」にちなみ、この祭を「若葉祭」と呼ぶようになりました。

古白はじめ、代々の城主は若葉祭の時、領民の主だった者を城中に招いて酒食をふるまいました。酒に酔った領民たちは帰る途中ごろごろと路上に寝転んでしまいました。

この様子を今に伝えているのが、祭の神幸行列の最後尾を受持つ「やんよう神」の一行です。路上に寝ころぶ様子が「うじむし」に似ているところから、この祭は「うなごうじ祭」とも呼ばれています。

若葉祭は、天王社に祀られる獅子頭を宵祭の時に八幡社へ迎え、翌日の本祭に八幡社の神輿とともに天王社へ送り、その神幸とともに氏子4組が馬簾(ばれん)(ダシとも言うそうです)と呼ばれる町印を先頭に、それぞれ特色ある祭礼風流を展開します。

氏子4組の上若組、下中組(西若組)は大山と囃子車で、大山では「かくれ太鼓」を行います。大山は東三河地方の古い山車の要素を残しています。懸装品として二階の高欄正面から布団を飾る山車風流は、この地方の大山や山車でも他に例がありません。さらに二層の山車の中で行う「かくれ太鼓」は、稚児舞が独自に発展したもので、唐子の衣装を身につけた稚児が、笛や小太鼓に合わせて高欄から身を乗り出して人形振りのように演じることに特色があります。神児組(通称裏町組)は神児車で、「神児舞」を巫女風の衣装を着た男子が行うという全国的にも珍しいものです。笛組(通称寺町組)は「笛踊り」に「やんよう神」が加わります。笛踊りは大太鼓1人、小太鼓2人が風流歌に合わせて踊る拍子物風流の芸能で、県内では東三河のみに分布しています。囃子方であるやんよう神が笛を持ち、最後にはとどころかまわず寝転びます。一度転んだやんよう神は、仲間が起こしてくれるまで寝ていなければならないしきたりとなっています。

天下の奇祭として有名な若葉祭は、この地域の春の風物詩です。わたしの子供たちは、

この様子



大山「かくれ太鼓」

上若組の囃子車で囃稚児と三味子として参加させていただいていました。毎年、囃稚児は2月から太鼓の練習が始まり、三味子は3月から三味線の練習が始まります。青年会の若い衆の笛や大太鼓と一緒に演奏を聴くと見事です。

本祭の行列は、長時間かけて八幡社まで戻るため、休憩以外は囃子車に乗って絶え間なく演奏を続けます。クライマックスは、夜8時30分から9時ごろに八幡社前で行われる「三つ車」神事です。大山と囃子車と神児車と馬簾(ばれん)が集結し、囃子もアップテンポになり盛り上がりは最高潮になります。馬簾(ばれん)が駆け抜けると祭が終了になり、囃子も終わるため一気に静けさが戻ります。無事に終わった安堵感と、祭が終わってしまった寂しさがありますが、同時にまた1年間頑張ろうと思わせてもらえます。



寝転ぶ「やんよう神」



八幡社前「三つ車」神事



囃子車

# 安心・安全な環境を目指して

社会福祉法人栄光会 デイサービスセンターさいたまロイヤルの園 (埼玉県さいたま市) 主任生活相談員 伊藤 茂樹

新型コロナウイルスが流行して3年が経過し、デイサービスを取り巻く環境は大きく変化しました。

情報量が少なく、目に見えないウイルスに不安や恐怖を感じながら、当事業所においても様々な試行錯誤をしてきました。

三密を避ける形で始まった「焼き芋会」は家庭菜園から採れた、さつまいもやじゃがいもを炭火焼きでご利用様に提供しており、恒例行事となりました。時季が来るとご利用者様からは「もう少しで焼き芋会ね!」と楽しみにして下さる方が多く、なかなか外出できない方にも、楽しんでいただける人気の

行事になっています。また、今までご利用者様同士で作っていたおやつクラブを『喫茶ロイヤル』という名前に変え、喫茶店のような雰囲気となるよう工夫しました。提供するお菓子も近隣にあるお菓子メーカーのカステラや芋ようかんなどにグレードアップしたことで、特別な時間を楽しんでいただけるようになりました。

この3年間は、感染対策のため、カラオケが実施できず、ボランティアの受け入れなども自粛しなければならない状況でしたが、コロナ禍ならではのサービスの仕方を工夫することができた良い面もありました。



園庭の桜



桜の下で記念撮影

物事は考え次第で良くも悪くも捉えることができることを実感できた3年間でもありました。

今もなお、新型コロナウイルスの脅威が残る中、感染症法上では5月8日からは5類に位置づけられる方針となっています。アフターコロナとして、新たな対応が必要になりますが、今後とも引き続き、ご利用者様にとって安心・安全なサービスが提供できるよう運営していきます。

# 埼玉県介護老人保健施設大会で発表してきました

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘 (埼玉県所沢市) 通所リハビリテーション 堀内 智洋、内藤 雅実

所沢ロイヤルの丘・通所リハビリテーションでは、頭で考えながら身体を動かすことで身体機能や認知機能の改善に繋がる「シナプソロジー」を行っています。そして、インストラクターである介護職員4人で、「シナプソロジー」は本当に効果があるのかを検証しました。その結果、当施設の通所リハビリテーションに通われている利用者様に身体機能や認知機能の改善があり、利用者様からも「ボタンの掛け外しがスムーズになった」等の言葉も聞かれました。この成果を他の事業所にもお伝えできればと考え、令和5年3月3日開催の埼玉県介護老人保健施設大会で発表してきました。沢山の人を前にして緊張しながらも無事に自分たちの取り組んだ成果を伝えることができました。

また、さまざまな施設の研究発表を聞くことができ、当施設でも取り組める内容が沢山あり、良い学びになりました。他施設の取り組みも参考にしながら、これからも

利用者様が、「ロイヤルの丘に行きたい!」と思って頂けるように努めたいと思います。

シナプソロジーは新たな刺激を脳に与えます  
シナプソロジーは、五感や認知機能へ新たな刺激を与え、それに対応することで脳を活性化させるプログラムです。新しい刺激に反応し脳が混乱した状態を作ること、脳を活性化させ、注意機能や判断などを磨いていくことが期待できるのです。みなさんも、シナプソロジーで楽しく脳を活性化しませんか?

新しい刺激を脳に与えます  
花(の名前)!  
次は逆まわりよ  
おっと...  
えっと...バラ

間違う とまどう 考える  
できない! しまった! すると脳が混乱します!

でも、このとき脳が活性化しているのです。

できなくても、それに対応しようとするのが大事! そのしなみを活かしたプログラムがシナプソロジーです

「シナプソロジーとは」

第27回  
埼玉県介護老人保健施設大会  
大会テーマ  
「地域と共に歩む老健を目指して」  
一人ひとりの未来を考える

日時 令和5年3月3日(日)  
会場 ソニックシティ  
主催 公益社団法人 埼玉県介護老人保健施設協会  
後援 埼玉県 社会福祉協議会  
公益社団法人 埼玉県老人保健施設協会

老健大会プログラム表紙